

財政健全化計画等執行状況報告書

1. 基本的事項

団体名	新潟県佐渡市	会計名	佐渡市簡易水道特別会計	団体担当者	上下水道課 金子明弘
承認年度	平成23年度				

2. 判定結果

項目	計画最終年度(又は改善額合計)			計画前年度実績(又は補償金免除額)		類型
	目標値	実績見込値	乖離値	実績値	乖離値	
① 地方債現在高						
② 実質公債費比率						
③ 改善額	87.0	100.0	13.0	44.0	56.0	a
④ 公営企業債現在高	4585.0	4509.0	76.0	4649.0	140.0	a
⑤ 累積欠損金比率						
					総合判定	a

3. その他

(i) 計画及び前年度執行状況の公表状況

計画:平成24年 3月 公表	(HP)・広報紙・その他【	】
執行状況:平成26年 6月 公表	(HP)・広報紙・その他【	】

(ii) 計画及び前年度執行状況の議会への説明

計画:平成24年 3月 説明
執行状況:平成 年 月 説明

(iii)実績(見込)値が計画目標値に届かない理由及びやむを得ない事情についての検討事項

(平成23年度 未達成の理由)

「料金改定を行わない場合の水道料収入」の実績値が計画値よりも約700万円も増加しており、一方「水道使用料収入」も平成23年9月(10月分使用料)より料金改定を実施したことなどにより、計画値よりも約400万円増加したが、「改善効果額」は約300万円の減となり目標を達成することができませんでした。

原因として、計画値は過去数年の水道使用料実績をもとに人口減少を考慮して「料金改定を行わない場合の水道料収入」及び「水道使用料収入(料金改定)」を積算し、その差額を改善額としているが、H23積算において「料金改定を行わない場合の水道料収入」を過少に見積もっていたことから改善額が過剰に算定されていたためです。

平成24年度以降は、平成23年9月に実施した料金改定の効果も表れてきており目標を上回る達成状況となっております。
今後も平成27年度の最終年度に向けて、有収率の向上と給水コストの削減を進め、確実な目標達成に向けて取り組んでいきます。

(iv)改善に向けた取組及び今後の見通し

(v)改善方針の進捗状況

団体名	新潟県佐渡市
会計名	佐渡市簡易水道特別会計

類型	a
----	---

⑤ 公営企業債現在高

(i) 推移表

(単位:百万円)

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	計画最終年度 (平成27年度)	計画前年度 (平成22年度)
計画目標値(A)	4,718	4,657	4,650	4,620	4,585	4,649
実績(見込)値(B)	4,621	4,524	4,470	4,475	4,509	
乖離値(C) (A-B)	97	133	180	145	76	140
乖離率(D) (C/A)	2.1%	2.9%	3.9%	3.1%	1.7%	3.0%

(ii) 要因分析

計画最終年度における 未達成の要因	影響額(単位:百万円)					備考	やむを得ない 事情
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
合計	-	-	-	-	-		
うち、やむを得ない事情	-	-	-	-	-		

(iii)実績(見込)値が計画目標値に届かない理由及びやむを得ない事情についての検討事項

Empty dashed box for notes regarding the reasons for performance not meeting targets.

(iv)改善に向けた取組及び今後の見通し

Empty dashed box for notes regarding improvement measures and future outlook.

(v)改善方針の進捗状況

Empty dashed box for notes regarding the progress of improvement policies.

⑥ 累積欠損金比率

類型	
----	--

(i) 推移表

(単位: %)

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	計画最終年度 (平成27年度)	計画前年度 (平成22年度)
計画目標値(A)						
実績(見込)値(B)						
乖離値(C) (A-B)						
乖離率(D) (C/A)						

(ii) 要因分析

(単位: 百万円、%)

	計画最終年度(平成27年度)		再算定値
	計画目標値(A)	実績見込値(B)	
分母(営業収益等)			
分子(累積欠損金)			
累積欠損金比率			

分母悪化要因

(単位: 百万円)

要因	影響額(百万円)	備考	やむを得ない事情
合計	-		

分子悪化要因

(単位: 百万円)

年度	純損益		乖離値(A-B)	乖離要因	やむを得ない事情
	計画目標値(A)	実績見込値(B)			
平成23年度					
平成24年度					
平成25年度					
平成26年度					
平成27年度					
合計			-		

(iii) 実績(見込)値が計画目標値に届かない理由及びやむを得ない事情についての検討事項

(iv) 改善に向けた取組及び今後の見通し

(v) 改善方針の進捗状況